

マルチシリコン

きわみ

# 極

# 遮熱

環境配慮型無鉛遮熱顔料使用

二液弱溶剤型特殊シリコン樹脂塗料

上段 高反射プライマー無し

下段 高反射プライマー使用



KRA-5913

反射率 53.5%

反射率 69.6%



KRA-5915

反射率 46.9%

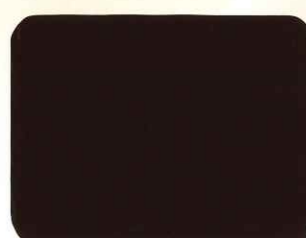
反射率 52.8%



KRA-5917

反射率 34.2%

反射率 43.0%



KRA-5919

反射率 33.6%

反射率 38.9%



KRA-5925

反射率 35.0%

反射率 39.2%



KRA-5931

反射率 33.3%

反射率 38.2%



KRA-5933

反射率 32.6%

反射率 38.2%



KRA-5935

反射率 42.7%

反射率 55.4%



KRA-5941

反射率 39.7%

反射率 45.6%



KRA-5951

反射率 34.2%

反射率 36.0%



KRA-5952

反射率 32.3%

反射率 33.8%



KRA-5953

反射率 30.1%

反射率 33.7%



KRA-5961

反射率 64.6%

反射率 70.9%



KRA-5927

反射率 45.3%

反射率 49.1%



KRA-5954

反射率 34.4%

反射率 36.3%



KRA-5955

反射率 32.5%

反射率 34.0%

※KRA-5933、KRA-5951、KRA-5952、KRA-5953は塗装した場合に、太陽光の反射により赤みを感じる色に見えます。



# 「極」の機能そのままに 遮熱効果をプラス

マルチシリコン極遮熱は屋根の美観を整えるだけではなく、ヒートアイランド対策や地球温暖化対策にも貢献。屋根材の輻射熱と蓄熱を軽減し、屋根から室内に伝わる熱を抑えることができます。

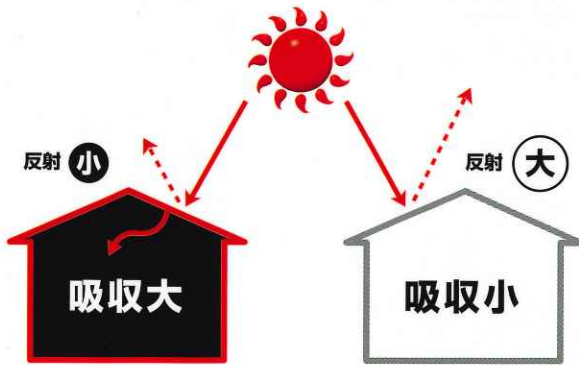
※建造物における遮熱効果は、窓等の開口部からの影響が大きい為、より快適な効果を得るためには、屋根、壁の断熱だけでなく、開口部ガラス面の遮熱対策を併せてとることを推奨いたします。



## 遮熱塗料の仕組み

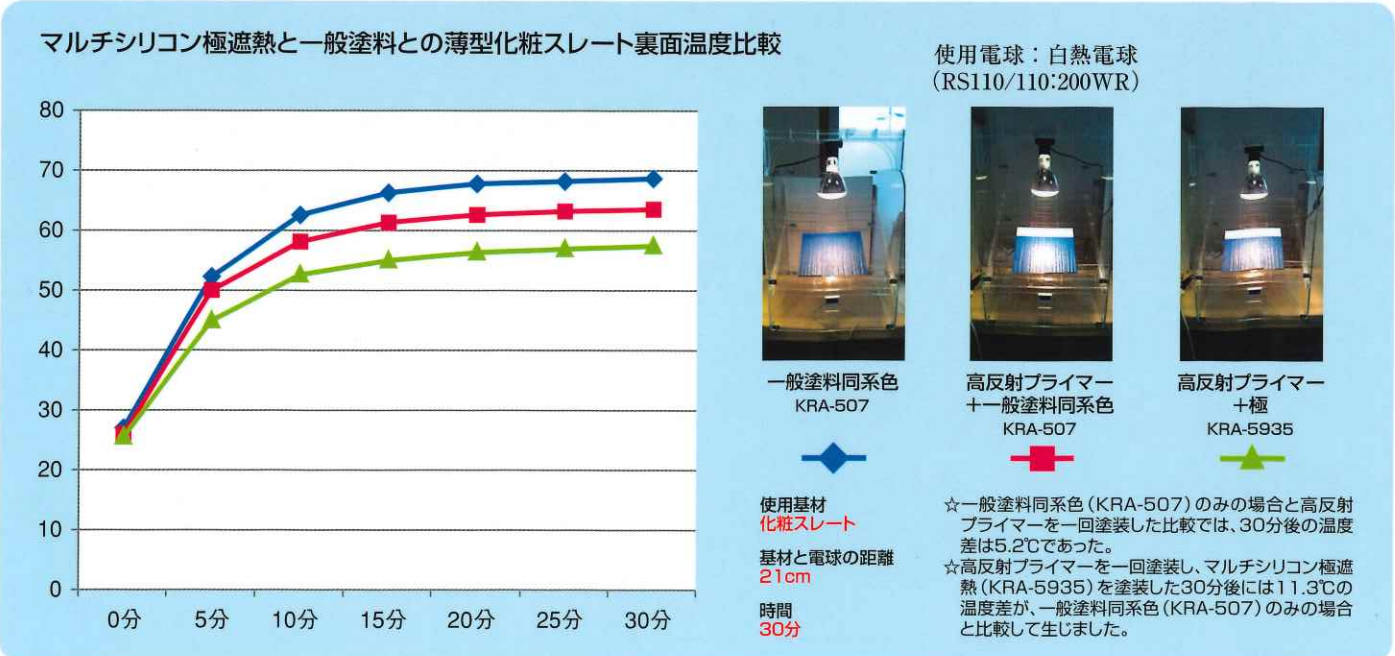
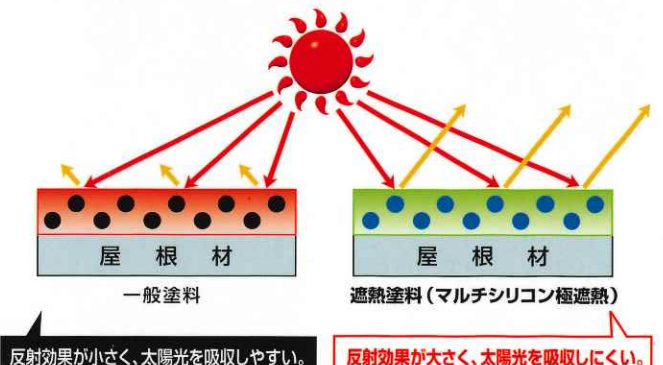
### 温度上昇は近赤外線吸収が大きな原因

一般的には色が黒くなるほど近赤外線を吸収し、温度が上がります。逆に白くなるほど近赤外線の反射が大きくなり、温度が上がりにくくなります。



### 遮熱顔料使用で、熱エネルギーへの変化を抑制

遮熱顔料を使用することで、同じ色相でも太陽光(近赤外線)を塗装膜で効率よく反射させ、吸収量を少なくし、熱エネルギーへの変化を抑制。



発売元：九州ルーフ会 お問い合わせは右記販売店へ

※マルチシリコン極 遮熱は調色できません。またロットの異なる塗継ぎはできません。  
 ※マルチシリコン極 遮熱は十分に攪拌してからご使用ください。  
 ※実際に塗装された色は見本帳の色と比べますと多少明るく見える傾向にあります。  
 ※この色見本の内容につきましては予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。  
 ※この色見本は、保管条件など経時で変色しますので有効期限をお守りください。

有効期限：平成29年10月

製造元：オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場 ☎547-0001 大阪市平野区加美北4丁目5番38号 TEL (06) 6791-4031  
 福岡営業所 ☎814-0161 福岡市早良区飯倉3丁目29番8号 TEL (092) 831-2281

熊本市東区御領6丁目9-73  
 豊登 サヤペイント  
 TEL 096-389-0221  
 FAX 096-381-9884